



# 埋文だより

第51号

平成21年10月9日発行

## 姿を現した古墳時代の集落跡



### しも づる 下鶴遺跡

たて あな  
竪穴住居跡検出状況  
※中央凸形の黒い部分が竪穴住居跡



かん がた  
埴形土器出土状況

下鶴遺跡は、伊佐市大口下殿に所在する縄文時代から近世にかけての複合遺跡です。川内川激甚災害対策特別緊急事業の築堤工事等に伴って、今年5月から発掘調査を開始しました。現在、古墳時代の竪穴住居跡をはじめとする様々な遺構が検出されています。

下鶴遺跡の周辺では、焼山遺跡や下ノ原B遺跡など、同じ時代の遺跡が多数見つかっています。これらのことから、下鶴遺跡とその周辺には、古くから人々の暮らしが営まれていたことがわかってきました。(4ページ参照)

### 目次

- ・姿を現した古墳時代の集落跡 ..... 1
- ・こりゃハマリそう... ..... 2, 3
- ・見学できます! 発掘調査最新情報 秋 ..... 4
- ・シリーズ埋文豆知識⑩ 出土遺物の処理その2「鉄器」 ..... 5
- ・まいぶんインフォメーション ..... 6

# こいゃハマいそう。。

## —埋文センターでの体験・研修—

埋蔵文化財センターでは、児童・生徒・学生への体験学習や、教職員・市町村の専門職員などを対象とした研修講座を毎年開催しています。今年も、たくさんの人たちが郷土の先人たちの営みにふれ、その足跡を後世に残すための作業に汗を流しました。

### 教職員研修

パワーアップ研修 (教職経験 10年)  
・ 7/30～31 (小学校, 特別支援学校ほか)  
・ 8/6～7 (中学校, 高等学校)  
フレッシュ研修 (初任者)  
・ 8/18～19

夏休みは、先生方にとっても幅広い知識を身につける絶好の機会です。

今年は上記3回の研修に、計30名の先生方が参加されました。このほかに、個人としての研修も受け入れました。

来てみれば必ず“ハマる”埋文の世界。来年度はぜひあなたも体験してみませんか。

写真1～3  
フレッシュ研修  
・ 平板実測  
・ 整理作業見学  
・ 発掘体験

写真4  
パワーアップ研修  
・ 拓本体験



1



2



4



3

### 職場体験・インターンシップ

9月7日からの1週間、鹿児島大学理学部と鹿児島国際大学短期大学部の学生5名が、発掘作業や整理作業、保存処理の体験に汗を流しました。

発掘現場では、炎天下でジョレンを引き、整理作業では拓本や実測など細かい作業が続き、かなり密度の濃い1週間となったようでした。

写真5  
インターンシップ  
・ 鉄器の脱塩作業

写真6  
埋蔵文化財専門職員養成講座 (中級講座)  
・ 土器復元



5

### 埋蔵文化財 専門職員養成講座

市町村教育委員会の職員を対象に、中級講座 (7/1～3) と初級講座 (8/18～19) を開催し、合わせて16名が参加しました。

出土遺物の整理作業や発掘調査の方法・技術、保存処理の基礎知識などの専門的な技術研修のほか、各市町村の現状についての情報交換など、有意義な講座となりました。



6

# こんな団体もみえました

当センターでは、学校の学習活動はもちろんのこと、市町村はじめ各種団体の活動も受け入れています。

この夏は、学校以外の団体として「霧島市文化財少年団」（7月28日ほか、霧島市）、「文化財ウォッチング『古代ロマンをたずねて』」（8月5日、鹿屋市）、中央公民館講座（8月7日、薩摩川内市）の3団体が、



11

発掘現場などでさまざまな体験活動をしました。

- 写真7～10 霧島市文化財少年団
  - ・発掘体験
  - ・土器の文様づくり
- 写真11 鹿屋市文化財ウォッチング
  - ・発掘体験
- 写真12 薩摩川内市中央公民館講座
  - ・整理作業見学



7



8



12



10



9

# 日本旧石器学会を開催

6月27、28日の両日、日本旧石器学会（日本旧石器学会，九州旧石器文化研究会主催）が、地方開催としては初めて、当センターで開催されました。当日は韓国をはじめ、全国各地から大学・研究機関等の研究者およそ150名が集い、会場内は大盛況でした。

「南九州における後期更新世の自然環境」と題して、井村隆介鹿児島大学理学部教授による記念講演があり、

その後、『南九州の旧石器時代石器群—「南」の地域性と文化の交錯—』をテーマに、白熱した議論が交わされました。

- 写真13～15 日本旧石器学会
  - ・展示された細石刃押圧加工具
  - ・研究発表
  - ・展示会場



13



15



14

# 見学できます！

## 発掘調査最新情報

# 秋

今年度埋蔵文化財センターで実施している発掘調査の中から、最新の情報をご紹介します。

### ①旅をしてきた須恵器

発掘調査中 来年3月まで

～下鶴遺跡～（伊佐市）

6号竪穴住居跡の中から、須恵器のふたが見つかりました。古墳時代に須恵器を焼く技術は鹿児島にはなく、県外から入手したものではないかと思われます。下鶴の人たちはどのようにして須恵器を手に入れたのでしょうか。

いずれにしても、この時期の須恵器が完全な形で見つかることは珍しく、貴重な資料と言えます。



出土した須恵器のふた

### ②局部磨製石斧

発掘調査中 来年3月まで

～中郡遺跡群～（出水市）

中郡遺跡は、弥生時代・中世の遺跡として知られ、今年5月から南九州西回り自動車道建設に伴い発掘調査が始まりました。調査では新たに押型文土器や円筒形条痕文土器、環状石斧といった縄文時代早期の遺物も出土しました。また、全面を打ち欠いて粗く加工し、刃の一部だけを磨いた特殊な石斧（局部磨製石斧）も出土しています。



出土した局部磨製石斧

今回紹介する遺跡の主な時代



### ③弥生時代の集落跡

～十三塚遺跡～（鹿屋市）

東九州自動車道建設に伴う発掘調査で2年目を迎えた十三塚遺跡では、これまでに8軒の竪穴住居跡や樹皮布叩石などが発見されています。

発掘調査中  
来年3月まで

現在、これまでの住居より少し離れたところに2本柱をもつ竪穴住居跡が検出されており、近くには同時期のものと思われる掘立柱建物跡も見つかりました。また、その周囲からは土製の勾玉（装飾品）も3点出土しています。



竪穴住居跡完掘状況



土製勾玉

### ④地鎮祭の跡？柱の底のお金

～油免・本寺遺跡～（南さつま市）

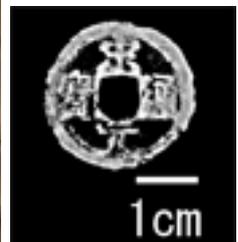
油免・本寺遺跡は、国道改良工事に伴い、6月から8月まで発掘調査を行いました。

発掘調査  
終了

ここでは、直径約80cm、深さ約1m前後の大型の柱の穴が5つ発見され、掘立柱建物の一部であることが分かりました。建物の規模等は不明ですが、そのうち2つの柱の穴の底から、10世紀中頃に作られたお金である「宋通元寶」が出土しました。



柱穴の底から出土した古銭



古銭×線撮影写真

# ショート埋文豆知識 11 出土遺物の処理その2 「鉄器」

ひとくくりに「鉄器」という見出しにしましたが、遺跡からは鉄製品だけでなく、銅や錫・鉛など、鉄以外の金属で作られたものも出土します。

これらの遺物も、数百年あるいはそれ以上の間、土の中に埋もれていたためかなりさびついています。そのままではいずれぼろぼろになってしまうため、機械や薬品を使ってさびが進まないように保存処理をします。



鉄鏃の出土状況（天神段遺跡）  
中央やや左は砥石（表面がなめらかなもの）

## 金属はなぜさびるのか…

鉄を例にして考えてみましょう。

鉄がさびると赤茶色（赤さび）や黒色（黒さび）の物質になります。これは、鉄が酸素と結びついてできるのです。私たちがふだん見ているぴかぴかの鉄は、鉄鉱石という岩に含まれる鉄を高温で溶かして取り出し、さらに削ったり磨いたりしたものです。鉄鉱石の中では、鉄はぴかぴかではなく酸素などと結びついて赤茶色や黒色の状態です。つまり、鉄は自然な状態ではさびているのです。他の金属も、鉄と同じように、さびていくのが自然な流れなのです。



X線撮影で6本の鉄鏃を確認

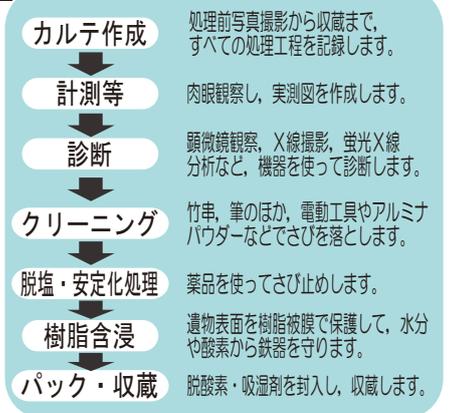
## 残す・伝える

鉄がさびるのは自然なこと。とはいえ、発掘調査で出土した遺物は、先人の知恵や文化の証

です。後世に伝えるためにも、さびを食い止めなくてはなりません。そのために、上のような流れで保存処理を進めています。



処理の様子（①アルミナパウダーによるクリーニング、②脱塩液の調合、③・④処理後の遺物の封入作業）



鉄器処理の流れ

## 遺物を保存処理するための機器②

精密噴射加工器 樹脂減圧含浸装置  
精密電動工具類 熱風循環式乾燥機

精密…、何だかややこしい名前が多いですが、鉄器の処理には欠かせない機器です。精密噴射加工器は、コップや鏡などに文字や模様をデザインするガラスアートでも使われています。ガラスアートの世界では、アルミナの細かい粒を圧縮空気で噴射してガラス表面を削りますが、埋蔵文化財の世界では鉄器表面のさびや砂粒などを除去します。精密電動工具類はダイヤモンドビットや軸付砥石などの先端工具をルーターで高速回転させて、竹串や精密噴射加工器などで除去できない硬いさびを落とします。いずれも、ものづくりの工房などでよく使われるものです。

樹脂減圧含浸装置は、真空に近い環境を作り、傷んだ鉄器の内部まで樹脂を浸透させます。浸透と乾燥を繰り返し行い、さびを食い止めます。



上：精密噴射加工器  
下：精密電動工具類



樹脂減圧含浸装置



熱風循環式乾燥機

# まいぶんインフォメーション

## 速報! 見学者500名超! ~とらいじょうあと 虎居城跡現地説明会~

虎居城跡はさつま町宮之城屋地に位置し、三方を川内川に囲まれた中世の山城です。昨年11月に引き続き、7月4日(土)に現地説明会を実施しました。

当日は天候にも恵まれ、県内外から500名を超える見学者が訪れました。発掘現場ではシオノ城の掘立柱建物跡やかまど跡、城をめぐる堀や柱などの木製品の説明、展示コーナーでは陶磁器等の出土品や遺物・遺構の写真展示を行いました。遺跡や出土品を前に、多くの見学者が在りし日の虎居城に思いを馳せていました。



遺構の説明の様子

## 速報! 担当者が語る発掘現場裏話~縄文の森企画展講演会~

8月9日、9月12日の2日間、上野原縄文の森展示館において開催中の「新発見! かがしまの遺跡2009~県立埋蔵文化財センター発掘速報展~」に関連して、調査担当者等による企画展講演会を実施しました。

企画展で紹介している遺跡の調査成果や出土遺物の詳しい説明のほか、当時の苦労話なども飛び出しました。たくさんの方々に参加していただき、本当にありがとうございました。

映像を交えて分かりやすく解説



## 地域が育む「かがしまの教育」県民週間 関連行事のご案内

当センターでは「かがしまの教育」県民週間に伴い、下記のとおり、11月中に2か所で現地説明会を行います。また、上野原縄文の森展示館との共催事業として、11月3日に3回目の企画展講演会も行います。ご家族やお友達とお誘い合わせの上、ぜひご参加ください。職員一同、心よりお待ちしております。

### 中郡遺跡群現地説明会 (出水市)

日時: 11月7日(土)

- 1回目 10:00~11:30
- 2回目 13:00~14:30

内容: 中世の城館跡に関連する建物跡や輸入陶磁器、縄文時代早期の土器などの紹介と発掘体験

発掘調査事務所TEL 0996-84-3617



### 下鶴遺跡現地説明会 (伊佐市)

日時: 11月28日(土)

- 1回目 10:00~12:00
- 2回目 14:00~16:00

内容: 弥生時代の土坑・古墳時代の竪穴住居跡などの遺構紹介と火おこしなどの生活体験

発掘調査事務所TEL 0995-22-4007



### 第25回縄文の森展示館企画展 「新発見! かがしまの遺跡2009 ~県立埋蔵文化財センター発掘速報展~」 講演会のお知らせ

演題: 「発掘調査の成果報告」

日時: 11月3日(火・祝日)  
13:30~15:00

場所: 上野原縄文の森展示館  
1階多目的ルーム

内容: 担当者による調査報告会  
遺物等の説明ほか

- 虎居城跡(さつま町)
- 石碓・十三塚遺跡(鹿屋市)
- 川骨遺跡(薩摩川内市)

当センターの見学は、土曜・日曜・祝日・年末年始を除き、毎日午前9時~午後5時まで、入館料は無料です。お近くにお越しの節はぜひお立ち寄りください。

なお、当センターのホームページは、鹿児島県教育委員会 (<http://www.pref.kagoshima.jp/kyoiku/>) または、上野原縄文の森(<http://www.jomon-no-mori.jp/>)からお入りください。

検索キーワード

上野原縄文の森

検索

クリック

### 埋文だより 第51号

発行日 平成21年10月9日  
編集・発行 鹿児島県立埋蔵文化財センター  
〒899-4318 鹿児島県霧島市  
国分上野原縄文の森2番1号  
TEL 0995-48-5811・FAX 0995-48-5820  
URL: <http://www.jomon-no-mori.jp>  
E-mail: [maibun@jomon-no-mori.jp](mailto:maibun@jomon-no-mori.jp)